

園芸や食品加工学ぶ 西彼農高で地域開放講座



観葉植物の寄せ植えを学ぶ参加者＝県立西彼農業高

西海市西彼町の県立西彼農業高（原口三徳校長）で15日、園芸や食品加工などを学ぶ地域開放講座が始まった。

受講者は公募し、市内外から25人が参加。12月まで全6回の講座があり、野菜のプランター栽培、お菓子作りなどを同校の教諭から学ぶ。

初回は、草花担当の教諭

が観葉植物について講義。挿し木や葉挿しで苗を増やす方法を解説し、「湿気が多い6、7月が適している」と話した。講義の後は実習。ミスゴケを土台にした観葉植物の寄せ植えを作った。同市大島町の森山元子さんは「アジサイを挿し木で増やしたいと思っていた。早速挑戦したい」と話した。

／／ 三島 (佐崎智章)